

GS

No.815
2019
10

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

ジャグラは一般財団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



■ 巻頭企画

今年のジャグラ作品展を振り返る

年々高まるクオリティと益々広がる多様性

■ 特別企画

PCのセキュリティ対策、万全ですか？

——コンピュータウイルス対策基準チェックリスト

ジャグラコンテスト第1次審査課題解説①

——Illustrator 問題1：年表の制作

■ NEWSとお知らせ

日印産連が2019年 印刷文化典を開催

関東地協・神奈川大会を盛況に開催



今年のジャグラ作品展を振り返る

～年々高まるクオリティと益々広がる多様性～



今年のジャグラ作品展大臣賞受賞作を前に左から
沖専務理事・岡澤コンクール委員長・中村会長

年末からジャグラ作品展の応募が始まります。作品展は会員企業が制作した印刷物の評価を通じて技術水準と将来課題などを探ることで、業界全体の技術向上・意欲高揚を図る目的で実施されていますが、本誌では応募開始を前にしたキックオフの意味合いも兼ねて、岡澤コンクール委員長、中村ジャグラ会長、沖専務理事のお三方に、今回の作品展について振り返っていただきました。

×

努力の積み重ねが結実した大臣賞

——最初に岡澤委員長より、ご挨拶をどうぞ。

■岡澤 コンクール委員長の岡澤です。作品展は昭和40年、つまり1965年から開催されている歴史あるジャグラの事業です。かつてはモノクロの業務用印刷物を主力商品としてきた私たちですが、先人の不断の努力によって、カラー印刷はもちろん、今では紙以外のメディアへの対応も成し遂げて、お客様のニーズに応えております。そのような歴史の中で、コンクール事業は会員各社の制作技術の向上の励みとして、多大なる貢献をしてきたと思いますが、今年ももうすぐ次の応募が始まりますので、今回の作品展について振り返りつつ、全国の会員にPRしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

——では早速、今回の作品展の大臣賞受賞作品につい

て感想をお聞かせください。最初に出版印刷物部門で経済産業大臣賞を受賞した、長野・(株)オノウエ印刷さんの「T&M Projectsアンデルス・ペーターセン写真集[Okinawa]」について、いかがでしたか？

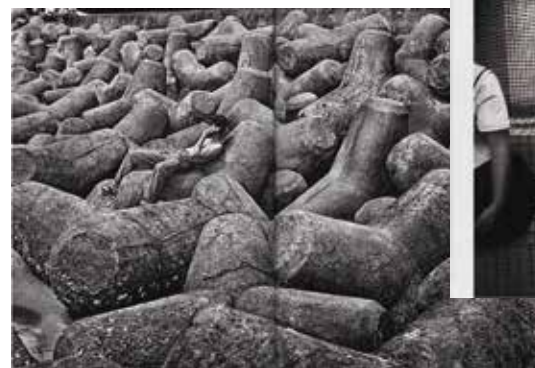
■岡澤 これはモノクロのオフセット印刷物ですが、カラーの応募作品が多い中において、圧倒的なインパクトがありましたね。しかもこの表紙——この女子高校生の写真は箔押しなんですよね。同社のコメントによると、本文は「濃墨インキとシルバーインキによるダブルトーン」、表紙は「本文に負けないインパクトを与えたいということで箔押しにチャレンジした」とのことですが、著名な写真家の作品集ということで、随分試行錯誤したようですね。

■中村 ここに写っている人物がとても個性的なんだよね。ヨーロッパで有名な写真家だから当たり前ともいえますが、だからこそこれを印刷で再現するということは大変なプレッシャーだったと思いますよ。

■沖 モノクロの印刷が一番大変なんですよね、基本中の基本だから。本作はプロセス4色のリッチブラックでなくダブルトーンでの表現ということですが、とても深みがあって味わいのある印刷ですよね。それが審査員の方に伝わったということでしょう？

——では次に、宣伝印刷物部門で経済産業大臣賞を受賞した、秋田・秋田活版印刷(株)さんの「泉谷玄作作品集カレンダー2019花火曼荼羅」については？

出版印刷物部門



T&M Projects アンデルス・ペーターセン写真集「Okinawa」
(株)オノウエ印刷 / 長野

業務用印刷物部門



THE TOLMAN COLLECTION 展 図録
陽光社印刷(株) / 福島

■岡澤 これは写真がとにかく凄い。最初、CGかと思ったくらいですよ（一同笑い）。一瞬で消え去る花火の、最大限美しい瞬間を捉える技術は、流石プロのカメラマンですね。泉谷さんは秋田出身で花火写真の第一人者のカメラマンということです。

■中村 撮影にどんな機材つかっているか知りたいよね。それと印刷が凄く綺麗なんだ。340線の高精細印刷らしいけど……。

■沖 印刷機のメンテナンスにとっても気を使っていると、同社のコメントにありましたね。やはり美しい印刷物の陰には、日々の努力があるってことですよ。

——次に、業務用印刷物部門で厚生労働大臣賞を受賞した、福島・陽光社印刷(株)さんの「THE TOLMAN COLLECTION 展 図録」については？

■岡澤 福島の版画家として有名な斎藤清画伯の美術館で、ノーマン H. トールマン氏のコレクション展を開催した時の図録とのことですが、これも美術品という原画を忠実に印刷で再現するといったご苦労があったようですね。

宣伝印刷物部門



泉谷玄作作品集カレンダー 2019 花火曼荼羅
秋田活版印刷(株) / 秋田

経済産業大臣賞

厚生労働大臣賞

開発・開拓部門



日本ハムファイターズ / シーズンチケット・化粧箱
(株)プリプレス・センター / 北海道

■中村 陽光社さんは数々の美術館と長年取り引きがあるということだから、そういったノウハウがあるんだろうね。いいお客様を持っていると考えがちだけど、そういった仕事の積み重ねが大臣賞につながるんだと感じました。

■沖 作品のPRポイントとして、「オリジナルチャートを使用し、原画との色の合わせ込みを細部まで行った。墨やグレーでの表現も多数あり、データ上でのバランスが崩れないように注意しながら印刷を進めた」とありましたが、同社には営業品質管理部という部門が有って、その担当がお客様のもとへ出向いて原画と色合わせをしているようですね。

——最後に、開発開拓部門で厚生労働大臣賞を受賞した北海道の(株)プリプレス・センターさんの「日本ハムファイターズ/シーズンチケット・化粧箱」については？

■岡澤 初見では、センスあるパッケージの勝利で、

過去の応募作品より



平成 28 年度、出版印刷物部門で優秀賞*を受賞した(株)リーブルさんの「ぼく、ニホンオオカミになる!!」

※大臣賞の同一社連続受賞を避けるため、得点的に 1 位であっても翌年は大臣賞を見送って「優秀賞」として表彰している



平成 28 年度、出版印刷物部門で大臣賞を受賞した(有)一粒社さんの「北アルプス魅せられた山々 小林良生写真集」 オフセットと見紛うばかりのオンデマンド印刷のクオリティに審査員もビックリ！

チケット自体はごく普通のものかなと最初思ったんだけど、実はこのチケットが凄かった。だってチケットは、席種デザイン、席番号、対戦相手、時間、QR コードなどの情報が一枚一枚異なるので、これをバリエーション印刷しなきゃいけない。49 万枚以上の可変データを処理する必要がある、専用のデータベースとプログラムを作って、POD で出力した努力が凄い。

■中村 同社は年賀状ビジネスにも力を入れているけれど、そこで培った企画デザイン力、オンデマンド技術や加飾印刷のノウハウなどの経験が活かされた感じだね。大手 3 社とのコンペに勝っての受注は凄いね。

■沖 一目見ただけでもプレミアム感があるパッケージで、「ここまでやるか!」と思ったほどです。購入した野球ファンや企業は観戦後も捨てずに記念に取っておくだろうね。盛上げ印刷に箔押しで高級感を出しながら、用紙はミルクラフト、つまり牛乳パックのリサイクル再生紙を使ったらしいが、酪農の盛んな北海道への地元愛と環境配慮は、お客様に大きく訴えるポイントになったでしょう。

——やはり大臣賞を受賞するような見事な作品ができる背景には、これまで重ねてきた経験やノウハウがあるということですね。1日1日を大事にする姿勢を4社から学んで欲しいと思います。

作品展、最近の傾向は

——では次に、ここ数年の応募作品の傾向から、ジャグラ会員の仕事を掘り下げてみたいと思います。最初に、カラー印刷技術については平準化とでもいいま

しょうか、地域格差は昔より縮まった感もありますが、その点はどうでしょう？

■岡澤 近頃のオフセット印刷機はスキルレス化が進んでいるし、POD も技術革新によってオフセットに負けない出力可能な機種がたくさん出てきたので、そういう傾向はあるでしょう。もちろん見栄えの良い写真などを提供してくれるお客様、例えば大企業や美術館・博物館の数は東名阪といった経済圏が抜きんでるので、都市部の会員さんにアドバンテージはあるかもしれませんが、ネット社会の進展で、昔ながらの商圈を飛び越えることもできるので、地方の印刷会社にもチャンスはあるのではないのでしょうか。

■中村 先ほどの大臣賞にしたって、長野、秋田、福島、北海道と、全て東名阪以外の会員さんだよね（一同笑い）最近の常連ともいえる(株)リーブルさんだって高知だけれど、その評判をネットで知った内外のお客様から引き合いがあるらしいし。

■沖 リーブルさんも、若い社員の方がそれぞれの工程のプロとして自己研鑽を重ねて大臣賞を取り、それがまた PR にもなったようだから、作品展の主催者としては嬉しい限りだね。

——リーブルさんが最初に経済産業大臣賞を取ったとき、「受賞は日常からの贈り物だ」「最初、今回の受賞はまぐれだと思っておりました。しかしその後いろいろと考えていくにつれ、理由のある受賞だったと改めて思ったのです。このような日常的な取り組みの積み重なりが、必ず実を結ぶことを実感し、そういった日々の取り組みを積極的に実践してくれている社員に感謝するばかりです。」というコメントを寄せても

同一デザイン複数展開 / 多言語対応は最近の傾向



今年、宣伝印刷物部門で特別賞を受賞した(株)野毛印刷社さんの「時計×航海 - 経度ヲ発見セヨ - ちらし / ポスター / 図録」 同一デザイン複数展開といったセット物の応募作品も増えている

らったことが記憶に残っています

それと今、ちょっと出てきたPODですが、応募票を見なければオフセットかオンデマンドか、わからないレベルの応募作品も増えていますよね？ 例えば、平成28年度の出版印刷物部門で経済産業大臣賞を受賞した愛知の(有)一粒社さんの作品集とか。

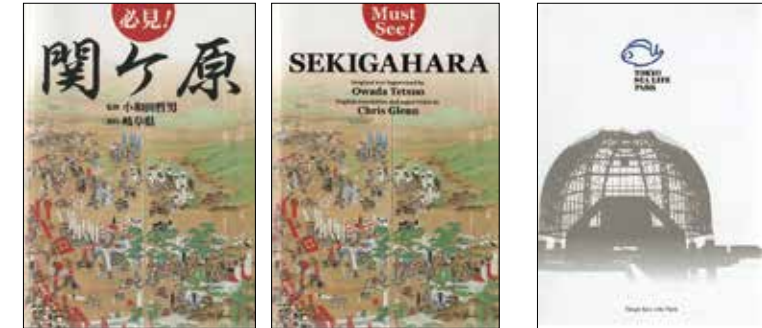
■岡澤 そうそう、あれはオンデマンドと言われなきやわからなかったな。北アルプスとか富士山の写真集を出してもらっているけど、びっくりしたね。

■中村 ジャグラはPODのプロ集団といっても過言ではないんだから、オンデマンドの作品をどんどん応募して欲しいね。小ロット化の進む紙メディアにおいては、その活用方法が経営課題とも言えるのだから。——また、最近の傾向と言え、例えばイベント関連のPRツールとして、リーフレットやパンフレットだけでなく、ポスターやチケット印刷、グッズ類、Web展開まで、包括的に展開した応募も増えている感じを受けます。

■岡澤 紙メディアは小ロット化が進んでいるから、企画からときには発送まで、一括して請け負えるなら、お客様の手間も省けるわけだし、そういった営業展開は一つの武器になるだろうね。最近のPODはいろいろなものが作れるし……。

■中村 総合力が問われるわけだけれど、何も全部を自社でまかなう必要はないんだな。ディレクションする力、ネットワーク力が問われるわけで、だからこそジャグラという組合を巧く使って欲しいんだ。

■沖 昔は会員皆がモノクロ業務用印刷物で商売していたから、ある意味、ライバル会社の集まりだったか



最近の傾向として多言語対応の応募作品が増えている 出版印刷物部門・サンライズ出版(株)さんの「必見! 関ヶ原」(左&中)と宣伝印刷物部門・(株)ウイングさんの「葛西臨海水族園利用案内」(右)は、いずれも日英の多言語対応作品で、今年の全国中小企業団体中央会会長賞を受賞した

もしれないけれど、今のジャグラは会員個々が多種多様のビジネス展開をしているから、会長の仰ったとおりコラボする事例が増えるといいですね。

——もう一つ、最近の傾向といえば多言語展開作品の増加、例えば今年は、滋賀のサンライズ出版(株)さんや和歌山の(株)ウイングさんが、日本語&英語版の作品を応募しています。

■岡澤 インバウンド需要が叫ばれ、訪日観光客が増える中で、こういった印刷物への対応は求められていますよね。

■中村 通り一遍の観光地巡りが一巡し、日本人が気づかない地方とか、地元の商店街にまで観光客が押し寄せているからね。地元密着のジャグラにとっては、見逃せない動きかもしれないな。

■沖 作品展の応募ではないけれど、本誌8月号の「需要創出を考える」に、東京・中央支部の(株)ケーヨーさんの多言語展開の事例が紹介されていますよ。建設関係のマニュアルを日英2か国語で展開したという事例だけれど、外国人労働者が増える中で、観光分野だけではない多言語展開の需要もあるのではないかと考えた早坂社長からの提案でした。

作品展応募のススメ

——さて、年末から次回の作品展の応募が始まります。主催者として会員企業に向けてPRしたい点とか、こうした方がいいというポイントはありますか？

■岡澤 委員会としてはもっとたくさんの会員さんに応募して欲しいのですが、なかなか常連以外の企業が

開発開拓部門は企画・アイデア勝負！（ここ数年の大臣賞受賞作品）



バラエティに富んだ開発開拓部門、ここ数年の厚生労働大臣賞受賞作品の数々

左から、交友印刷㈱さんの「振り込め詐欺啓発用フロアサイン」、㈱カミヤマさんの「ぬくもり 正色漢字辞典」、㈱グッドクロスさんの「手作りコーヒー（ミルク）ペーパーの葉」、(有)東海タックさんの「封筒開封率 UP（花の種入り）シール」

増えない悩みがあるんです。PR がまだまだ足りないのか、それとも自社の製作物では賞を取れないというあきらめがあるのか……。

■沖 「高価なオフセット印刷機で刷った見栄えのいい作品ばかり選んでいるのでは？」といった誤解があるかもしれないけれど、そういうわけではないんですよ。地元密着の印刷物とか、企画やアイデアが優れていて大臣賞を取った作品もあるので、最初からあきらめないで欲しい。

■中村 特に開発・開拓部門は企画やアイデア勝負という側面が強いから、どこかの印刷会社にもチャンスはあると思うね。

——確かに最近の同部門の大臣賞を見ると、兵庫・交友印刷㈱さんの「振り込め詐欺啓発用フロアサイン/平成26年度」、愛知・㈱カミヤマさんの「ぬくもり 正色漢字辞典/平成27年度」、東京・㈱グッドクロスさんの「手作りコーヒー（ミルク）ペーパーの葉/平成28年度」、愛知・(有)東海タックさんの「封筒開封率UPシール/平成29年度」など、バラエティに富んでいますね。

■沖 問題は、応募票の書き方で、作品のどこを審査して欲しいのか、PR ポイントを簡潔明瞭にまとめて自由記入欄に書いて欲しいんだよね。別紙にまとめて添付しても OK です。

■岡澤 入賞する会社は応募票の書き方も巧いんだよね。それはお客様に企画提案する能力が優れているということに通じるわけだけれども……。

——本誌連載の「需要創出シリーズ」は、主に作品展の入賞社に原稿をお願いしていますが、各社各様の工夫や苦勞をご披露いただき、何かしらのビジネスヒントを得ることができると思います。では最後に岡澤委員長より、会員の皆様に向けて作品展PRのご挨拶をどうぞ！

■岡澤 作品展受賞社の社長さんにお話を聞いたり、機関誌に寄せられたコメントを読むと、「社員一同喜んでおり、今後の励みになった」と皆さん話しています。どんな会社にもそれぞれの強みがあるので、それをPRする良い機会です。自社の立ち位置はどれくらいのものなのか、ぜひ作品展にチャレンジして欲しい。社員に励みの場を与えることも経営者の役割だと思いますよ！

——時間となりました。本日はありがとうございました。

（企画・進行：編集部 / 藤尾泰一）

作品展は自社の立ち位置を確認する
いい機会なので積極的に応募して欲しい
——岡澤コンクール委員会委員長



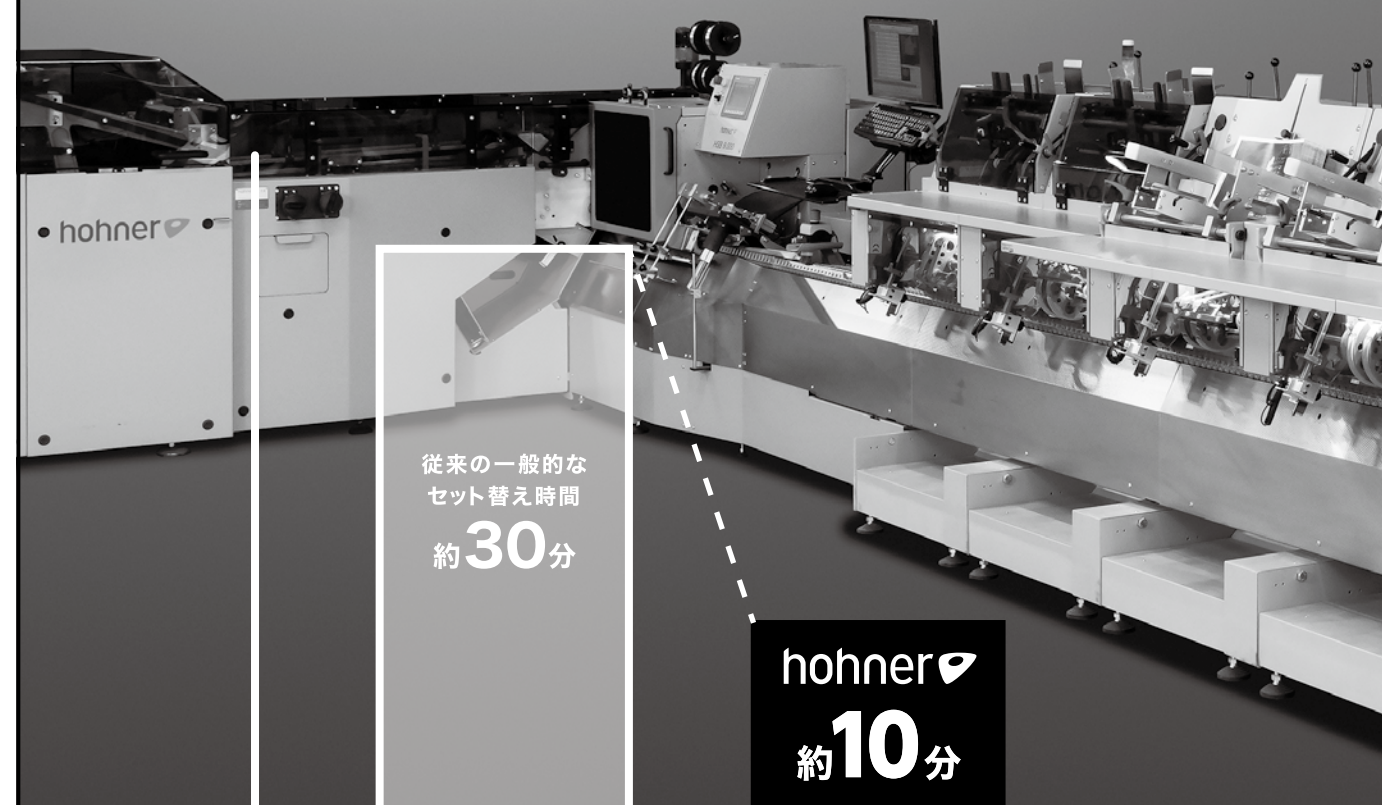
FUJIFILM

Value from Innovation

セット替え時間、3分の1。

欧州販売シェア2年連続No.1※の実績を誇る、独ホーナー社製中綴じ機。
中綴じ製本の生産性を劇的に高める、次世代の世界標準。

※当社調べ。



中綴じ機のセット替え時間の比較

NEVER STOP

FFGS POSTPRESS SOLUTION

ホーナー社製 中綴じ製本機 HSBシリーズ

■実機見学をご希望の方は、担当営業へご連絡いただくか、
QRコードから“ホーナー社製中綴じ機見学希望”と記入してお申し込みください。



ホーナー社中綴じ製本機 国内総代理店

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

補助金のひろば③

「65歳超雇用推進助成金」「特定求職者雇用開発助成金」

経営基盤強化委員会

経営基盤強化委員会（岡澤担当副会長、中村盟委員長）は、経営に役立つ補助金情報を隔月で紹介しています。今回は上澤宏史委員（㈱クリエイト横浜：神奈川県支部）に2つの助成金を紹介していただきます。



×

高齢者雇用は、日本の産業にとって重要度の高い問題であり、働き方改革の中でも非常に重視されています。働き方改革の根本的な背景として少子高齢化がありますが、今回はそれに関わりのある2つの助成金をご紹介します。

65歳超継続雇用促進コース

この助成制度は、生涯現役社会の実現に向けて、65歳以上への定年引上げ等や高齢者の雇用管理制度の整備等、高齢者の有期契約労働者を無期雇用に転換した事業主に対して助成するもので、高齢者の雇用推進を図ることを目的としていて、60歳以上の雇用保険被保険者数に応じて支給されます。助成額は下表の通りとなります。

◎旧定年年齢を上回る65歳以上への定年引上げ

A：65歳以上への定年引上げ／B：定年の定めの廃止

設置内容 60歳以上 被保険者数	A				B 定年の定め の廃止
	65歳まで引上げ 5歳未満	5歳	66歳以上に引上げ 5歳未満	5歳以上	
1～2人	10万円	15万円	15万円	20万円	20万円
3～9人	25万円	100万円	30万円	120万円	120万円
10人以上	30万円	150万円	35万円	160万円	160万円

C：希望者全員を対象とする66歳以上の継続雇用制度の導入

設置内容 60歳以上 被保険者数	C			
	66～69歳まで 4歳未満	4歳	70歳以上 5歳未満	5歳以上
1～2人	5万円	10万円	10万円	15万円
3～9人	15万円	60万円	20万円	80万円
10人以上	20万円	80万円	25万円	100万円

特定求職者雇用開発助成金（生涯現役コース）

この助成制度は、雇入れ日の満年齢が65歳以上の離職者をハローワーク等の紹介により、一年以上継続して雇用すること

が確実な労働者（雇用保険の高年齢被保険者）として雇い入れる事業主に対して支給される助成金です。

この助成金を支給されるためには、

①ハローワークまたは民間の職業紹介事業者等の紹介により雇い入れること。

②雇用保険の高年齢被保険者として雇い入れ、1年以上雇用することが確実であると認められること。

以上2つの条件を満たす必要があり、支給額は下表の通りとなります。

支給対象者	支給額	助成対象期間	支給対象期ごとの支給額
短時間労働者 以外の者	70万円 (60万円)	1年 (1年)	35万円×2期 (30万円×2期)
短時間労働者*	50万円 (40万円)	1年 (1年)	25万円×2期 (20万円×2期)

()内は中小企業事業主以外に対する支給額および助成対象期間です

*：「短時間労働者」とは一週間の所定労働時間が20時間以上30時間未満である者をいいます

詳しい情報は下記Webサイトをご覧ください。

◎厚生労働省ホームページ 65歳超雇用推進助成金

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000139692.html>

◎特定求職者雇用開発助成金（生涯現役コース）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/tokutei_kounenrei.html

会社および社員のメリット

以上、ご紹介した助成金のメリットを列記します。

●会社のメリット：①経験・スキル・ノウハウ・人脈の活用、②若手社員の手本になる、③高齢者の考え方も取り入れ知見が広がる、④国からの支援・補助が受けられる

●社員のメリット：①人の役に立つ、社会との繋がりを感じられる、②収入が増える、③健康に気を遣いつつまでも若々しくいられる

※弊社も10年前、70歳を超えた先輩印刷営業マンを雇い入れた事があります。印刷時のトラブルの対処法や入札案件の注意事項など教えていただき、大変勉強になりました。その頃にはこんな補助金があったか定かではありませんが、今でも大変為になっております。

なお、この助成金を活用する前に現在の就業規則等の見直しが必要となります。



TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月～金) 9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

PCのセキュリティ対策、万全ですか？

短期連載^①：コンピュータウイルス対策基準チェックリスト

(公社)東京グラフィックサービス工業会 専務理事 斎藤 成

お客様や同業者と原稿やデータをやりとりする印刷会社にとって、コンピュータウイルスや不正アクセスから自社のPCを守る重要性については、本誌でも度々注意を促してきたが、一般ユーザをはじめ、被害を伝えるニュースは後を絶つことがない。会員各社におかれては、日々その対策にご尽力されていることと思うが、今一度、初心に立ち返るという意味で、経済産業省がかねてより掲げている『コンピュータウイルス対策基準』と『コンピュータ不正アクセス対策基準』より、システムユーザとシステム管理者が遵守すべき項目について2回連載でご紹介しておく。リスト形式にまとめたので、各社の状況を自己チェックされたい。

×

コンピュータウイルス対策基準

コンピュータウイルスとは？（その定義）

コンピュータウイルスとは第三者のプログラムやデータベースに対して、意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムで、次の機能の一つ以上有するものとしている。

- 自己伝染機能**：自らの機能によって、他のプログラムに自らをコピーまたはシステム機能を利用して自らを他のシステムにコピーすることにより、他のシステムに伝染する機能
- 潜伏機能**：発病するための特定時刻、一定時間、処理回数等の条件を記憶させて、発病するまで症状を出さない機能
- 発病機能**：プログラム、データ等のファイルの破壊を行ったり、設計者の意図しない動作をする等の機能

ユーザとして心掛けておくべきこと（18項目）

システム利用者（以下、ユーザ）の、コンピュータウイルスに対する対策（心掛けておくべきこと）は以下の通り。

- ソフトウェア管理** ユーザが導入するソフトウェアに対する対策
 - ソフトウェアは、販売者または配布責任者の連絡先および更新情報が明確なものを入手している。
 - オリジナルプログラムは、ライトプロテクト措置、バックアップの確保等の安全な方法で保管している。

- 運用管理** ユーザがシステムを利用する上での対策
 - 外部より入手したファイルおよび共用するファイル媒体は、ウイルス検査後に利用している。
 - ウイルス感染の被害が最小となるよう、システムの利用は、いったん初期状態にしてから行っている。
 - ウイルス感染を早期に発見するため、システムの動作の変化に注意している。
 - ウイルス感染を早期に発見するため、最新のワクチンの利用等により、定期的にウイルス検査を行っている。
 - 不正アクセスによるウイルス被害を防止するため、パスワードは容易に推測されないように設定し、その秘密を保っている。
 - 不正アクセスによるウイルス被害を防止するため、パスワードを随時変更している。（パスワードの定期変更は2018年4月に総務省が英数記号混交で10桁であれば変更不要としている）
 - 不正アクセスによるウイルス被害を防止するため、システムのユーザIDは共用していない。
 - 不正アクセスによるウイルス被害を防止するため、アクセス履歴を確認している。
 - 不正アクセスによるウイルス被害を防止するため、機密情報を格納しているファイルを厳重に管理している。
 - システムを悪用されないため、入力待ちの状態で放置しない。
 - ウイルス感染を防止するため、出所不明のソフトウェアは利用しない。
 - ウイルスの被害に備えるため、ファイルのバックアップを定期的に行い、一定期間保管している。

- 事後対応** ユーザがウイルスを発見した場合の対策
 - ウイルスに感染した場合は、感染したシステムの使用を中止し、システム管理者に連絡して、指示に従う。
 - ウイルス被害の拡大を防止するため、システムの復旧は、システム管理者の指示に従う。
 - ウイルス被害の拡大を防止するため、感染したプログラムを含む媒体等は破棄する。

- 監査** 適切なウイルス対策実施を監査する項目
 - ウイルス対策の実効性を高めるため、ウイルス対策についてのシステム監査の報告を受け、必要な対策を講じている。

システム管理者が心掛けておくべきこと（31項目）

システムを導入・維持および管理する者（以下、管理者）のための対策（心掛けておくべきこと）は以下の通り。

- コンピュータ管理** 管理者がハードウェアおよびソフトウェアを導入および更新する場合の対策
 - ウイルス対策を円滑に行うため、コンピュータの管理体制を明確にしている。
 - ウイルス感染を防止するため、機器を導入する場合は、ウイルス検査を行っている。
 - ウイルス感染を防止するため、コンピュータにソフトウェアを導入する場合は、ウイルス検査を行っている。
 - ウイルス被害に備えるため、システムにインストールした全ソフトウェアの構成情報を保存している。
 - オリジナルプログラムは、ライトプロテクト措置、バックアップの確保等の安全な方法で保管している。
 - 不正アクセスによるウイルス被害を防止するため、システムのユーザ数およびユーザのアクセス権限を必要最小限に設定している。
 - ウイルス被害を防止するため、共用プログラムが格納されているディレクトリに対するシステムのユーザの書き込みを禁止している。
 - ウイルス被害を防止するため、システム運営に必要なないプログラムは削除している。

- ネットワーク管理** 管理者がネットワークを導入および更新する上での対策
 - ウイルス対策を円滑に行うため、ネットワークの管理体制を明確にしている。
 - ウイルスに感染した場合の被害範囲を特定するため、ネットワーク接続機器の設置状況をあらかじめ記録し、管理している。
 - ウイルス被害に備えるため、緊急時の連絡体制を定め、周知・徹底している。
 - 不正アクセスによるウイルス被害を防止するため、ネットワーク管理情報のセキュリティを確保している。
 - 不正アクセスによるウイルス被害を防止するため、外部ネットワークと接続する機器のセキュリティを確保している。

- 運用管理** 管理者がシステムを維持および管理する上での対策
 - システムの重要情報の管理体制を明確にしている。
 - 不正アクセスからシステムの重要情報を保護するため、システムが有するセキュリティ機能を活用している。
 - パスワードを容易に推測されないようにするため、安易なパスワード設定を排除している。

- ウイルスの被害に備えるため、運用システムのバックアップを定期的に行い、一定期間保管している。
- ウイルス被害を防止するため、匿名で利用できるサービスは限定している。
- 不正アクセスを発見するため、アクセス履歴を定期的に分析している。
- ウイルス感染を早期に発見するため、システムの動作を監視している。
- ウイルス感染を早期に発見するため、最新のワクチンの利用等により定期的にウイルス検査を行っている。
- システムの異常が発見された場合は、速やかに原因を究明している。

- 事後対応** 管理者がウイルスを発見した場合、およびシステムユーザから発見の連絡を受けた場合の対策
 - ウイルス感染の拡大を防止するため、感染したシステムの使用を中止する。
 - ウイルス感染の拡大を防止するため、必要な情報をシステムユーザに、速やかに通知する。
 - ウイルス被害の状況を把握するため、ウイルスの種類及び感染範囲の解明に努める。
 - 安全な復旧手順を確立して、システムの復旧作業にあたる。
 - ウイルス被害の再発を防止するため、原因を分析し、再発防止対策を講ずる。
 - ウイルス被害の拡大及び再発を防止するため、必要な情報を経済産業大臣が別に指定する者に届け出る。（例：IPA）

- 教育・啓蒙** 管理者およびユーザに対して行うウイルス対策の教育・啓蒙
 - ウイルス対策のレベルアップを図るため、ウイルス関連情報を収集して周知・徹底している。
 - セキュリティ対策及びウイルス対策について、システムユーザの教育・啓蒙を行っている。

- 監査** 適切なウイルス対策実施を監査する項目
 - ウイルス対策の実効性を高めるため、ウイルス対策についてのシステム監査の報告を受け、必要な対策を講じている。

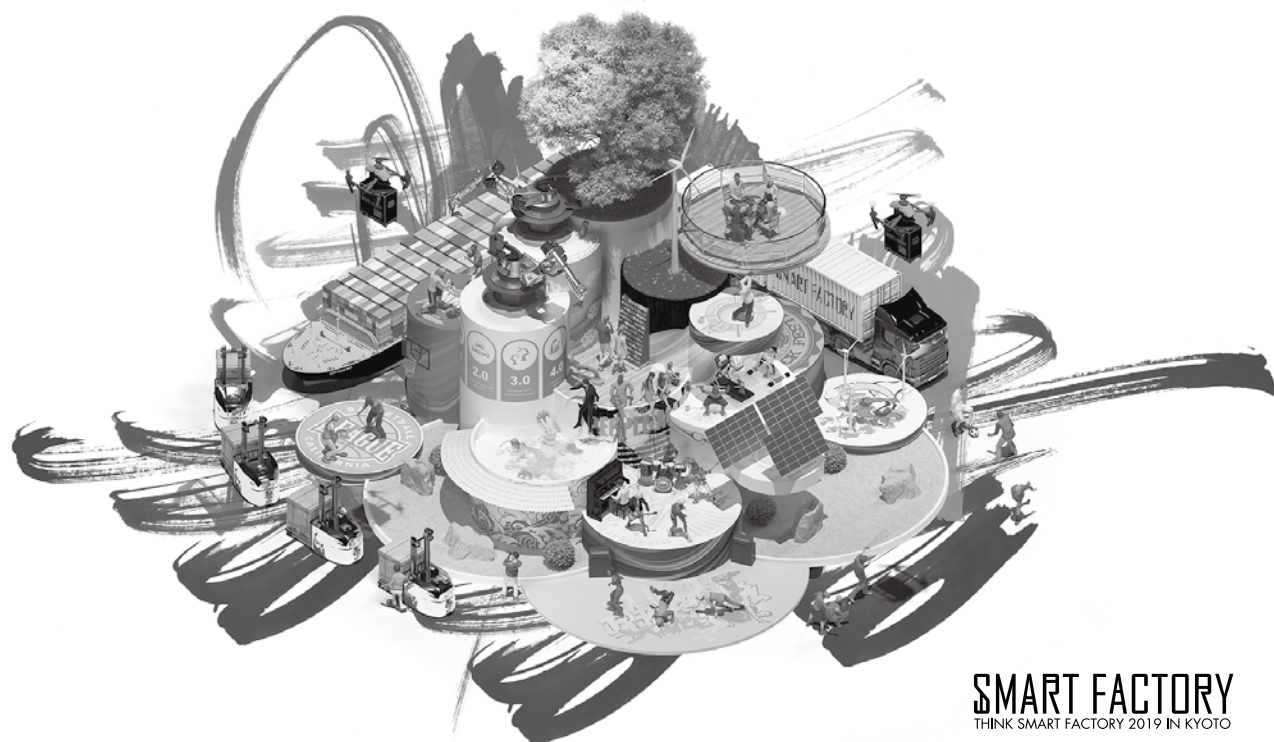
（次号につづく）

「SMART FACTORY」の実現に向けて

～印刷産業の未来を考える～

プリントメディアを取り巻く環境は、いよいよ繋がる時代に向けて変化しその流れは、機械設備やワークフローを生かした自動化や省人化、新しいビジネスモデルの構築に向けて加速しています。

TSF2019 実行委員会は、繋がる時代のヒントをつかみ情報交換を行う場となる THINK SMART FACTORY 2019 を開催します。見て・聞いて・学ぶ場としてご活用ください。今までにない展示スタイルでみなさまをお迎えします。



SMART FACTORY
THINK SMART FACTORY 2019 IN KYOTO

THINK SMART FACTORY 2019 IN KYOTO

<https://thinksmartfactory.com>

会期：2019年11月11日(月)～13日(水)

場所：みやこめっせ(京都市勧業館：京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1)

主催：TSF2019 実行委員会

運営：ホリゾン・インターナショナル株式会社

協賛：キャノンマーケティングジャパン株式会社 / ダックエンジニアリング株式会社

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 / 株式会社グーフ / 株式会社日本 HP

Hunkeler AG / 株式会社 JSPIRITS / コニカミノルタジャパン株式会社 / 株式会社レゾロジック

リコージャパン株式会社 / リョービ MHI グラフィックテクノロジーズ株式会社

株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ / TECNAU

協力：株式会社パリューマシーンインターナショナル



詳細情報はこちらから。
本展示会は入場無料の登録制になります。

プリントメディアの総合商社

SHOWA

そろそろこのマシンもガタがきてるな… 何か新しいことを始めないと… 最近の技術についていけない…
うちも本気でカラーマネージメントをやらないと…
次の基幹システムはどうしよう… そろそろ買い替え時だな…
よその会社はどうしてるんだろう…
新システムを導入しても、使いこなせてないな… **やばい！また資材がきれてる…**
また発注ミスが… お客様との連携がうまくないな… もう少し効率よくできないものか…
最近トラブル続きだな… **またクレームだ…**
何か新しい提案ができないかな… 負担をもう少し減らせないものか…



そんな悩みを

SHOWAが解決します！

機資材 + 技術サービス + システムサービス + コンサルティング

SHOWAなら…

- ★アフターフォローも万全
- ★ユーザー会で密に情報交換
- ★創業90年の実績
- ★軽快なフットワークが自慢
- ★提案型営業でしっかりサポート

21世紀のグラフィックアーツと共に考えるSHOWAユーザー会

コラボレーション&リサーチ
「SHOWA会」

へのお誘い

— 年間の活動 —

- 研修会 ●工場見学会 ●総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ●有志グループ活動

①お問い合わせ、入会お申し込みは事務局まで

SHOWA会 事務局 TEL: 03-3263-6141
FAX: 03-3263-6149

一步先ゆく

株式会社
SHOWA

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-8 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

<http://www.showa-corp.jp>

オペレータースキルアップのために ジャグラコンテスト第1次審査課題解説①

Illustrator 問題1: 年表の制作

DTPオペレーターの技能を競う「ジャグラコンテスト第5回 Illustrator」の第1次審査が終了し、10月4日に順位が決定しました。第1次審査で出題された課題内容と審査の要点を連載でお届けします。

課題内容

「問題1：年表の制作」では、支給されたテキストと画像を使用して、年表パネルをIllustratorで制作するという課題が出題されました。



出題の意図

過去のジャグラコンテストでは、サンプルと同じものをアプリケーション上で再現する課題が多かったのですが、今回は書体の選択、枠・吹き出しのデザインに自由度を持たせました。そのため、悩まれた方も多かったと思います。

デザインの自由度を保たせたのは、実際の仕事では曖昧な指示書とデザイン素材のみ提供されることも多いので、そのような案件に柔軟に対応できるかを見る意図がありました。ただし、デザインの良さを競うコンテストではありませんので、採点の基準はあくまでIllustratorの機能を巧みに使いこなしているかをポイントとしています。あわせて、年表として使うのに適したフォントを選択しているか、図版や文字組みなど各パーツが見やすいように配置されているかなども採点項目としています。

課題のポイントと必須技能

今回の年表の課題では、吹き出しのデザインと写真枠のデザイン指定がありますが、支給された原稿の文字数や写真の大きさはまちまちです。それに合わせるために1つずつサイズ調整しては時間がかかってしまいます。そこで、アピアランス機能を組み合わせることで自動的にサ

イズ調整されるよう、効率化が図れているかがポイントとなります。

写真の白枠の処理については、配置した画像に白線を足しただけでは白枠は表示されませんが、オブジェクトのアウトラインに白線を追加することで白枠が表示されるようになります。あとはドロップシャドウを追加するだけで写真の白枠と影が作成できます。



段落スタイルと同様に、アピアランスを適用した図形も、グラフィックスタイルとして登録することができます。こうしておけば、写真や吹き出しを選んでグラフィックスタイルを適用するだけで同じデザインに変えることができます。



この課題で一番の難所は？

吹き出しは各所で中に入る文字数が違うため、文字数に合わせてサイズ調整されるボックスを作成するには「形状に変換」機能を利用します。塗りを追加し、パスのアウトラ

インと角丸長方形を追加することで文字数に追従する下敷きの白ボックスができあがります。ただ、それだけでは吹き出しのヒゲの部分がありません。塗りを自由変形で三角形にすることでヒゲにすることもできますが、このような場合は、線を別に用意してグループ化した方が汎用性が高くなります。文字色の黒の塗りの下に、白の塗りを作成し、「パスのアウトライン」「形状に変換：角丸長方形」を追加します。これで文字に追従する吹き出しのベースができます。



ひげの部分は線を作成し、線幅プロファイルで片方だけが線幅0%になるようにします。



下地を白くした文字と線をグループ化し、全体にかかるドロップシャドウを追加することで完成します。



専門委員会議の様子（昨年の模様）

課題出題者からのメッセージ

吹き出しや写真が多く登場するデザインでは、アピアランスを組み合わせたパーツアイテムを最初に取り、グラフィックスタイルに登録しておけば、同じようなデザインを再び使う際に簡単にデザインを適用できたり、同じスタイルを適用したオブジェクトのデザインを一括変更できるようになります。もちろん、文字組みも段落スタイルに登録しておけば、書体変更が生じた際も、段落スタイルの設定を変更するだけで一括変更することができます。

本課題に取り組むことで、個々のオブジェクトをそれぞれ編集する手間を省き、余った時間でデザインに注力するなど、時間を有意義に使っていただけるようになれば嬉しく思います。

図版付き解説と模範データは特設サイトで！

ジャグラコンテスト特設サイトでは、第1次審査課題の解説文全文を図版付きで公開中です。コンテスト未受験の方もご覧いただけますので、ぜひスキルアップにご活用ください。

また、受験者の方は、第1次審査課題資料に記載されたダウンロードID・パスワードを入力することにより、「ダウンロード」ページから課題の模範データをダウンロードいただけます。

▼ジャグラコンテスト第5回特設サイト

<https://www.jagra-contest.com/>

初心者のための ウェブマーケティング入門⑧

ウェブアクセス解析～妄想力を高めよう

ジャグラー事務局/Web担当 阿部奈津子



今回はGAを活用する上で重要な指標となる「コンバージョン」について解説しました。今回は、ウェブアクセス解析に必要な「妄想力」について解説します。

×

アクセス解析事例

今回は、私が以前、社員教育の一環で受講したウェブマーケティング講座において、実在するウェブサイトのアクセス解析を行った際に学んだことを書きたいと思います。

アクセス解析したウェブサイトは、レディスカバン専門店の通販サイトでした（具体的なサイト名は公表を控えます）。授業では、まず各受講者が対象サイトのデザインレイアウト、説明文の内容、画面遷移、使い勝手などをチェックしつつ、GA 管理画面にログインし、本連載でも解説してきたさまざまな指標によるユーザー分析を行いました。その後 4 人一組のグループでディスカッションをしながら意見をまとめ、グループ代表者が分析結果を発表するというかたちで授業が進行しました。

まずは、ウェブサイトアクセスし、サイトを閲覧して感じたことをグループ内で話し合ったところ、下記のような意見が出ました。

①サイトを閲覧して感じたこと

◎サイトに若い女性がかバンを持っているイメージ写真が多用されていることから、ターゲットは 20 ～ 30 代前半の若い女性と思われる

◎ナチュラルなデザインの商品を提供しており、サイトのデザインもアースカラーを中心とした落ち着いた雰囲気、商品とサイトデザインがマッチしている

◎「日本製」をセールスポイントにしており、商品単価は 1 ～ 3 万円と安くはないが、商品の品質は良さそう

◎楽天等の通販サイトには出店していない

◎「カバン 国産 ナチュラル」など、サイトが売りとしている文言で検索エンジンに入力しても上位表示されない

◎商品詳細ページを見るまで在庫の有無がわからない

◎問い合わせ対応時間が平日 12-17 時と短い

次に、GA 管理画面から下記分析結果をまとめました。

②GA分析結果

◎ユーザー分析をしたところ、25-34 歳女性のアクセス数は多いが、18-24 歳女性のアクセス数は少ない

◎コンバージョン率（購入率）を調べたところ、サイトがターゲットとしている 18 ～ 24 歳／25 ～ 34 歳女性のコンバージョン率は低い

◎コンバージョン率をもっとも高かったのは、45 ～ 54 歳女性、続いて 55 ～ 64 歳女性だった

◎購入方法の説明ページへのアクセス数が多かった

◎リピーターが少なく、ほとんどが新規ユーザーである

◎商品詳細ページからの離脱率が高かった

◎モバイルアクセス数が低く、PC からがほとんどである

以上の分析から、下記仮説が立てました。

③立てた仮説

◎ターゲットである若い女性の購入率が低いことから、商品単価を下げる必要があるのではないか？

◎モバイルアクセス数が低いことから、若者にサイト情報がリーチしていない可能性がある。若者はツイッターやインスタグラムからサイトへ流れることが多いため、商品写真をインスタグラムに掲載して PR してはどうか？

◎商品詳細ページまでたどり着くと在庫数が「ゼロ」の商品が少なくない。購入の意思があったのに、在庫がなくガッカリして離脱してしまう人がいるのではないかな？

◎商品にはママバッグなどもある。45 ～ 54 歳女性の購入率が多いことから、比較的収入が安定した高齢出産女性のママバッグとしての需要が高いのではないかな？

◎55 ～ 64 歳女性の購入率が高いのは、孫などへのプレゼント用に購入した可能性も高いのではないかな？

◎若い女性モデルのファッションは、以前流行した「森ガール」風である。森ガール自体が現在流行していないため、商品コンセプト自体を変えてみてはどうか？

次に、仮説に基づいた下記改善案をまとめました。

④改善案

◎ターゲット（若い女性）と購入層（中～高年女性）が一致していないので、購入層に合わせ、サイトを改善する。例としては、ママバッグ購入者向けに赤ちゃんを抱いた 30 代女性モデルを起用し、子育て中の商品使用を想起させるイメージ写真を多くする。

◎55 ～ 64 歳女性の購入率が高いのは、孫へのプレゼント用の可能性があるため、進学祝いを想起させるイメージ写真を増やす、ラッピングやメッセージカードなどプレゼント用サービスの内容を充実させる。

◎ショッピングカートが使いつらいため、楽天やアマゾンなどのショッピングサイトに出店し、販売はショッピングサイト経由で行うよう運用方法を変更する。

◎在庫状況が一目でわかるよう、商品一覧ページに在庫有無を表示するよう改善する。

◎問い合わせ対応時間が 12 ～ 17 時と短すぎるため、10 時から問い合わせ対応可能なよう体制を整える。

◎Instagramを開設し、商品写真を多数掲載する。また、購入商品を使用する様子をInstagramに投稿したユーザーには、割引クーポンを配布するなどのサービスを行う。

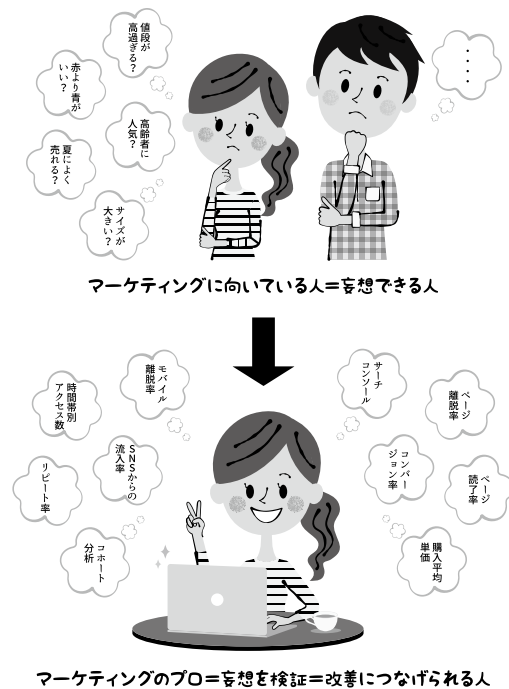
マーケティングとは妄想と検証の繰り返し

さて、今回ご紹介したウェブマーケティング講座でのアクセス解析事例は、私も含め、ウェブマーケティング初学者が集まり、数十分程度の持ち時間でひねり出した解析結果と改善案です。しかし、この結果と改善案がまったくの見当違いかといえ、そうともいえません。なぜなら、サイトを利用するのは不特定多数のユーザーであり、自分自身がまぎれもなくその不特定多数の中の一人に該当するからです。自分自身が「このサイトは使いづらい」「この商品は高すぎる」と感じたら、その感覚自体が 1 人のユーザーの意見として重要な情報となるのです。

では、ウェブマーケティングのプロと素人の差は一体どこにあるのでしょうか。それは、「妄想力」と「妄想が現実であるかどうかを検証する力」であることを、私はウェブマーケティング講座の受講を通して学びました。「この商品が一番売れているのは、こんな理由があるからではないか？」「この検索ワードでサイトを訪問する人が多いのは、こんな動機からではないか？」「売上が上がらないのは、ここに問題があるのではないかな？」と、どんどん妄想を膨

らませることができれば、まずはウェブマーケティングに適性アリといえるでしょう。

問題は、妄想によって立てられた仮説が正しいかどうかを検証する作業です。検証には、GA で計測できるさまざまな指標の中からどの数字を割り出すことが有用かを判断する力や、継続的な数値測定などの地道な努力が必要になります。この手間のかかる検証作業を継続し、改善につなげられるかどうか。ここがマーケティングのプロと素人との違いなのだと思います。



●グロースハック

「グロースハック」とは、数値やユーザーの声を分析し、時間と費用をかけずにさまざまな施策を取り入れることにより、ウェブサイトの改善のみならず、サービスそのものを成長させていく戦略を指し、それらの戦略を実行できる人材を「グロースハッカー」と呼びます。日本ではあまり浸透していないこのグロースハックは、2010 年シリコンバレーで誕生した新しいマーケティングの概念です。有名なグロースハック事例に、クラウドストレージサービス「Dropbox」の紹介インセンティブ制度や、つぶやきで有名な SNS「Twitter」の新規ユーザーへのフォロー先提案システムなどがあります。これらのグロースハック事例に共通しているのは、綿密なアクセス解析とユーザーへの調査結果をもとに仮説を立て、最適な改善策を打ち出し、広告費用をかけず短期間でユーザー数を爆発的に増加させた点です。興味のある方は、ぜひ世界のグロースハック事例を調べてみてください。

多言語ユニバーサル情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス



多言語に対応した デジタルブックを簡単に作成 手軽に配信・快適に閲覧

あらゆる紙媒体をデジタル化し、スマートフォンやタブレット端末に手軽に配信。
さまざまなシーンにおいて、時間・場所・言語にとらわれず、情報発信から閲覧環境
まで、ワンストップで最適な環境を提供いたします。

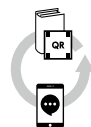
快適なユーザ体験をもたらす
多彩で豊富な機能を搭載



テキストウィンドウ
表示



自動音声合成
機能



SNS連携機能



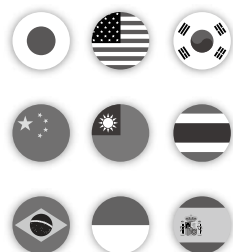
ログ解析機能



配信エリア
指定



本文検索機能



高性能翻訳エンジン



モリサワは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

www.morisawa.co.jp

詳しくは [エムシーカタログ](#)



●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。 ●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

ようこそ、 可能性。

商用印刷や企業内印刷の最前線では、あらゆるシーンに可能性がひそんでいます。
プロの現場の期待に応えるのは、さらなる高品質と用紙対応力を磨きあげた RICOH Pro C5200S シリーズ。
この 1 台から、新たな付加価値を生み出すステージが始まります。



RICOH Pro C5210s/C5200s

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

※写真はRICOH Pro C5210S にオプションを装着したものです。

プロ、体感。

RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース

RICOH Proをはじめ、プロダクションプリンティングビジネスの新たなソリューションをご覧ください。またDTPセミナーも定期的に開催中。
お問い合わせ：050-3534-2121 ※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。



この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスである RICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。

* iPhone/iPad/Android™ アプリケーション「RICOH CP Clicker」(無料)をダウンロードし、
広告を撮影(クリック)すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧いただけます。

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6
リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝3-8-2

※iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。※AndroidはGoogle Inc.の商標です。

委員会通信

ジャグラ各委員会の活動をご紹介します

POD研究部会、総務委員会、経営基盤強化委員会 議事録より

本誌では理事会などの議事録掲載を通してジャグラの状況をお知らせしていますが、各委員会の詳細な活動については別途「委員会通信」というタイトルでご紹介しています。

×

8.1 POD 研究部会

Amazing Day について

デジタル印刷のIoT化に取り組む企業として、当日、(株) Amazing Day（本社：東京都港区高輪）に来てもらい、話を聞いた。

- ①同社が運営する印刷 API サービス『Codenberg（コーデンベルク）』は「クラウド型印刷 API システム」として企業や個人が持つデータベースに API を繋いで、印刷の自動化を実現する新しいプラットフォームである。
- ②大型のシステムではなくてオープンプラットフォームなので、他社との連携が取りやすいと言われている。
- ③主なクライアントは印刷会社ではなく、定期的に印刷物を発注する事業会社である。詳細については追加取材を行い、機関誌に掲載する。

【主な意見】

- ①ジャグラ会員の中で取引ができるような仕組みが構築できると面白い。その際、コーデンベルクの仕組みは使えるかもしれない。
- ②印刷機だけではなく、周辺機器を含めてジャグラのネットワークが活用できるとよい。
- ③登録したとしても、他社がやっていない仕事とか、短納期、低価格など何らかの特徴が無いと PR しにくい。

その他

次回部会は 11 月 26 日、ヒューレットパッカード社に来てもらい話を聞くことにした。

◎出席 原田大輔理事（グループリーダー）、熊谷正司担当副会長、宮崎真理事、樋貝浩久委員（山梨）、林田桂一委員（東京・城東）、小林佳之委員（東京・文京）、朝香貴裕委員（東京・中央）、古賀正人委員（関東複写）、菅野孝市専門委員（ニューブリンティング(株)）、並木清乃事務局長

9.13 総務委員会

議事に先立ち、本部 1 階から 9 階に移転したジャグラ DTP 教室を見学、収支改善についても報告を受けた。

×

今年度の課題

- JPA（日本プリンティングアカデミー）の件
 - ①モンゴルの人材育成支援について、現状、話は進んでいないようだ。JPA としてはモンゴルの返信待ち。
 - ② JPA の後援組織を全国で進めていく。
- 組織拡大パンフ
 - 7 月の委員長会議にて宮崎理事が発案。8 月にパンフ案を理事・関係部会に示し、意見を集約し、宮崎理事・岡本副会長にフィードバックした。
 - ①今回、最終校正があがってきたので、確認して欲しい。
 - ②パンフをどう使うか検討する。目標は 1000 社。東京ではアボ電（マニュアル付）で組織拡大を進めたい。

- 用紙問題
 - 再生紙は製造していない。用紙不足、高止まりした価格、対策はあるか？

- 消費税増税
 - ① 5 → 8% の際はいろいろな措置があった。今回はないのか？ ジャグラでメッセージをださないのか？
 - ②受け皿になれる事務局が必要
 - ③ポイントは地協会長。本部と支部・会員とをつなぐ立場。
 - ④地協会長・支部長はボランティアだからムリは言えない。

- 事務局体制
 - 事務局の業務が増えている。マンパワーを含め、手当する必要がある→結果が「人員の増員」なのか「人員の削減＋給与増額」になるかは分からないが……。

- 来期の体制
 - 事務局の件、財政の件、来期の体制が決まらないと進ま

◎出席 谷川聡委員長、山本耕司担当副会長、中村耀会長、熊谷正司副会長、岡澤誠副会長、菅野潔副会長、岡本泰副会長、中越忠男副会長、沖敬三専務理事、守田輝夫常務理事、並木清乃事務局長、長島安雄総務部長、國田佳代（(株)クイックス総務部）

ない→課題について、谷川委員長、山本副会長、岡本副会長で検討、次回委員会までに成文化する。

その他

福岡県支部の(株)ネオプリンティング / 安部武之さんが逝去（9 月 8 日）されたので、弔電＋生花を手配した旨、沖専務より報告した。

9.17 経営基盤強化委員会

年賀状デザインコンテスト

- 2020年子年の実施について
 - ① 7 月 2 日に選考委員会を開催、7 月 12 日に特設サイトで発表するとともに、機関誌 8 月号にも掲載した。
 - ②受賞作品で見本帳を作成し、8 月 16 日よりダウンロードを開始した。見本帳は機関紙 9 月号に同封。
 - ③ 11 月 15 日の全国協議会で表彰を行う。
- アンケートの実施
 - 年賀状アンケートについて、毎年 1 月に実施していたが、回答内容に余り変化がないため昨年は実施しなかった。今年度は内容を一部修正して来年 1 月に実施する。

- 2021年丑年の実施について
 - ①募集対象、ジャンル、賞金、受賞点数など、今年度と同様に行う。
 - ②募集パンフレットやポスターに協賛企業のロゴを入れ、目立たせる工夫をする。
 - ③各社にアプローチして協賛企業を増やす。
 - ④実施スケジュールは下記の通り。
 - 募集開始：4 月 1 日、締切り：6 月 21 日、選考会議：7 月初旬、結果発表：7 月 21 日、ダウンロード開始：8 月 21 日
 - ⑤その他
 - パンフレットは機関誌 4 & 5 月号に同封、従業員規模 20 名以上の会員企業および全国の専門学校・美大にポスター＆パンフレットを送付する。

◎出席 岡澤誠副会長、中村盟理事（委員長）、吉澤和江理事、岩下登理事、関信行委員、大橋邦弘委員、並木清乃事務局長

補助金情報の提供について

- ①機関誌で各種補助金の情報提供（タイトル「補助金のひろば」）を行っており、6 月号で「ものづくり補助金」、8 月号で吉澤委員が「キャリアアップ助成金」「両立支援助成金」を紹介した。また、10 月号で上澤委員が「65 歳超雇用推進助成金」「特定求職者雇用開発助成金」を紹介する。
- ②今後の予定は下記の通り。
 - ◎野口委員：時間外労働等改善助成金
 - ◎岩下委員：人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）
 - ◎大橋委員：障害児者の自立と福祉向上を目的とした各種活動、施設の設置・改善の事業
 - ◎大橋委員：障がい者給料増額支援助成金
 - ◎岡澤委員：補助金獲得のコンサルタント
 - ◎関委員：ものづくり補助金
 - ◎関委員：IT 導入補助金サービス等生産性向上 IT 導入支援事業
 - ◎関委員：小規模事業者持続化補助金
 - ◎中村委員：平成 31 年度小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業

モデル就業規則の作成

働き方改革に対応したモデル就業規則の作成について検討を行っている。ジャグラの会員企業から就業規則を取り寄せたり、吉澤委員の会社の社労士に相談したりしたが、そのまま使用することは難しいという結論だった。このため、ジャグラの会員である SME サポート（新宿支部）の金子一美氏に雛形作成を依頼することになった。今回の委員会で第 1 案を提示する。

【主な意見】

- ①補助金を申請するには就業規則が必須である。就業規則は一度決めてしまうと、労働側に不利益になるような変更はできない。
- ②今回は雛形なので法令や労働協約をクリアできる内容でよい。条件をプラスしたい企業は各社で肉付けを行うという考え方で実施する。

その他

次回委員会は 12 月 13 日。

取引先との
トラブルを、
解決したい！

会費値下げで
一層ご利用しやすくなりました

個人情報保護
の覚書って、
どう書くの？

専任弁護士を
雇う余裕は
無いしなあ...

基本契約書の
内容チェック
どうしよう？

5万円/年

→

2万円/年

法律相談ネットワーク

ほうしんかい

「グラフィックス法親会」のご案内

皆で入ろう、困った時のために！ いつでも気軽に相談できる、皆の法律専門家！

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近は経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスをもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも50万円以上（年額）かかるといわれており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持とう」というジャグラ会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまでも様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げる次第です。皆様のご入会をお待ちしております。



法親会・会長 添田隆男 (株)サンライズ / ジャグラ 18 代会長

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要			
● 専任	今西一男 弁護士	● 事務代行（入会申込先・問い合わせ先）	
● 会費	20,000 円 / 年（税別） ※年度途中入会は月割換算（年度末 12/31）	一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・事務局	
● 会員特典	① 無料相談（随時） ※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応 ② 情報交換会（適時開催）	東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 〒103-0001 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006	

入会申込書

申込日 20 年 月 日

fax.03-3661-9006

社名	フリガナ	氏名	フリガナ	印
住所	〒			
Tel		Fax		E-Mail

日印産連

9.13 2019 年 印刷文化典を開催

中村会長・吉澤理事*・熊谷副会長・早坂理事・(株)文伸が表彰される

於 ホテルニューオータニ

ジャグラなど印刷関連10団体で組織する一般社団法人日本印刷産業連合会（日印産連、金子眞吾会長）は、一般社会の印刷産業への認識を深め、理解の促進を図ることを目的に毎年9月を「9月 印刷の月」と定め、各種活動や行事を行っていますが、9月13日、東京・ホテルニューオータニにて「2019年 印刷文化典/記念式典・懇親会」を開催、業界の発展に貢献された個人・団体の表彰が行われました。



印刷文化典・記念式典の会場風景

×

今年は4年に一度の文化典ということで、印刷文化賞3名、印刷功労賞14名、印刷振興賞22名、特別賞3名1団体が表彰されました。また同時に、印刷産業環境優良工場、「印刷と私/エッセイ・作文コンテスト」、「2019 GP（グリーンプリンティング）環境大賞」の各種表彰も行われました。ジャグラ関係の表彰者は以下の通りです。

- ◎印刷功労賞
 - 中村耀 ジャグラ会長（NS印刷製本(株) / 東京・新宿）
 - 吉澤和江 理事*（株太陽堂封筒 / 東京・新宿）
- ◎印刷振興賞
 - 熊谷正司 副会長（株くまがい印刷 / 秋田）
 - 早坂淳 理事（株ケーヨー / 東京・中央）
- ◎日印産連環境優良工場表彰・奨励賞
 - (株)文伸 BUN-SHIN FACTORY（東京・三多摩）
- ◎2019 GP マーク普及大賞
 - (株)文伸（東京・三多摩）

※吉澤理事は全印工連推薦による受賞です



記念式典で挨拶をする
日印産連・金子会長



印刷文化典パンフレット



日印産連より表彰を受けたジャグラ関係の各氏 左から中村会長、吉澤理事、熊谷副会長、早坂理事、(株)文伸の川井社長と同社工場（三鷹ビジネスパーク1号館1階）

ジャグラ

9.7-8 関東地協・神奈川大会を盛況に開催
於 箱根湯本温泉・吉池旅館

ジャグラ関東地方協議会（以下、関地協）・神奈川大会が9月7～8日の両日、箱根湯本温泉の吉池旅館において、関東甲信越地区のジャグラ会員ならびに来賓・関連事業者75名の参加を得て、盛況に開催されました。

×

箱根はジャグラの前身である「日膳連」が設立総会を開いた地です。関地協の大会は各支部持ち回りで2年に1度開催されており、今回は神奈川県支部が主管し、岡澤誠関地協会長（ジャグラ副会長、神奈川県支部長）、露木貴弘神奈川大会実行委員長の元、盛大に開催されました。

岡澤地協会長の冒頭挨拶、沖敬三専務理事の来賓祝辞に続いて開催された総会では、今年度の事業報告・決算、ならびに次期事業計画・予算を、原案通り承認しました。

その後の懇親会は「外郎売り」に扮した露木実行委員長による「歌舞伎十八番外郎売」の口上、中村耀ジャグラ会長の挨拶に続き、大会テーマ「話そう 語ろう 関地協 天下の嶮で 心ひとつに」を唱和して開宴！

（文：並木事務局長）

箱根湯本で活躍する芸者たちで編成された「婆娑羅」の演奏と歌、総会前に開かれたゴルフコンペの表彰式、福引抽選会などで大変盛り上がりしました。その後、会場を移しての2次会では、皆さんカラオケで熱唱！

翌日は、パワースポットで有名な箱根神社、九頭龍神社を参拝。湖畔の鳥居がインスタ映えするように、写真撮影の順番を待つ長い行列ができていました。

桃源台港から箱根町港までの箱根観光船は、ラッキーなことに新型の「クイーン芦ノ湖」に乗船することができました。同船は「ななつ星 in 九州」を手がけた水戸岡鋭治氏がデザインしたものです。その後、箱根関所資料館を見学し、昼食は箱根竜宮殿本館で箱根姫の水を使った豆腐御膳に舌鼓をうちました。

最後は「鈴廣かまぼこの里」で、たくさんのお土産を買い込み、解散となりました。この日は台風15号が近づいており、天候が心配されましたが、ほとんど雨も降らずに観光することができました。

今回の神奈川大会は、実行委員会の皆様の頑張りで、大変に盛り上がりしました。素晴らしいおもてなしの心とジャグラの絆を感じた2日間でした。

（文：並木事務局長）



岡澤誠関東地協会長



露木貴弘実行委員長



総会の様子



挨拶をする中村会長



懇親会の様子



芸者バンド「婆娑羅」



2次会でプロ級の熱唱を披露！



箱根神社を参拝



新型観光船「クイーン芦ノ湖」へ乗船



箱根関所資料館を見学



鈴廣前で集合写真

あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

- 特長1** 掛金が割安です（例：30歳男性、1口277円/月）
- 特長2** 死亡時保障額は最高1600万円
- 特長3** 事故による入院もワイドに保障
- 特長4** 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます
- 特長5** 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局・酒井まで **Tel.03-3667-2271**

Column

事業承継に10年は必要

e-中小企業ネットマガジンVol.892より転載（http://www.chusho.meti.go.jp/e_chusho/index.html）

中小企業の事業承継問題がクローズアップされる中で、「事業承継には10年は必要」と考え、実行した経営者がいる。自動車や半導体製造装置、産業用ロボットなどの部品加工を手がける中農製作所（大阪府東大阪市）の中農（なかの）康久会長だ。「会社の成長を担ってくれる可能性」を判断基準に慎重に検討した結果、自身の長男ではなく、長男より4歳若い従業員を後継者に抜擢した。

中 農会長が事業承継を意識したのは50歳になった1997年。創業者である父の茂氏から42歳で社長を引き継いで8年目のことだ。早い段階で次の事業承継を考えたのは、就任直後に経営者として未熟さを痛感したからである。「加工・生産技術は父から徹底的に学んだが、経営とは、経営者とは何かといった視点では何も教えてくれなかった。後継者にはそうした苦勞をさせたくなかった」と語る。

数 年かけて、社長にふさわしい人材が社内にはいないか探した。長男の中農健太氏も入社したため、「後継者選びでは相当悩んだ」という。熟慮の末に選んだ結論は、高校を卒業して入社8年目の従業員への承継だった。2006年、26歳という若さで営業部長を務めていた西島大輔氏を夕食に誘い、次期社長を内示した。「企てが好きで率先垂範。切れ味抜群で明るい」という点を評価し、会社の成長を任せられると判断した。

中 農氏はまず、自社の財務状況や歴史を伝えた。会社の強みや弱みを分析するSWOT分析や経営計画と一緒に議論して作成し、社員の昇給・昇格・賞与の原案作りや「知的資産経営報告書」作成のリーダーを任せた。2008年に工場長、2011年に取締役役に就任させ、従業員や取引先に次期社長となることをアナウンスした。6年間にわたる“伴走”期間を経て、2013年5月に西島氏は3代目社長に就任。中農氏の期待通り、ベトナムへの工場進出や自社開発の洗浄機を外販するなど新分野への進出を図り、売上高と利益率アップに貢献した。

実 は中農会長は、悩み抜いた後継者選びについて一つの結論を出していた。西島氏に「攻めの経営者」を託す一方で、健太氏を取締役・財務責任者として「守りの経営者」と位置づけた。自身の経験から「攻めと守りを一人でコントロールしては会社が成長しない」と考えたからである。今年40歳となった西島氏は「50歳になったら後任に譲りたい」と話し、4代目の社長も従業員出身者となる可能性は高い。これに対し、中農会長は「西島と長男の二人の裁量に任せる」と言い切り、「会社の成長を担ってくれる可能性を判断基準にすることだけは継承してもらおう」と釘を刺す。事業承継に15年をかけた経営者の信念である。

シリーズ 需要創出を考える⑬

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラ会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探る本シリーズ。今回はジャグラ作品展受賞企業の中から、東京・新宿支部のNS印刷製本株式会社の事例をご紹介します。

事例17 作品展 / 業務用印刷物部門 厚生労働省人材開発統括官賞受賞

チャレンジの積み重ねで受賞した作品！

～由布院 緑涌 メモリーブック～

NS印刷製本株式会社(東京・新宿支部) 代表取締役社長 中村 盟



当社の歴史

この度は栄えある賞を頂き、誠にありがとうございました。作品についてお話しする前に、弊社の歴史を簡単にご紹介いたします。

弊社は戦後まもない時期、創業者である祖父が、余った紙を集めて、お届けする仕事からはじまりました。リンゴに被せる紙を北は青森まで届ける等、紙の販売業からスタートしたようです。その後、紙の販売とあわせて断裁業を行い、主に印刷会社から仕事を請け負っていました。当時の工場は木造2階建てで、断裁機5台ほどで紙を裁ち、お客様に届ける仕事为主要業務でした。高度成長期でチラシ全盛の時代でしたので、多くのチラシを断裁してスーパーなどに届けていました。

弊社の旧社名「中村紙業」は、昭和37年に有限会社として設立しました。因みに、現社名NS印刷製本のNは「NAKAMURA(中村)」、Sは「SHIGYOU(紙業)」のそれぞれ頭文字です。その頃から製本機の導入も行い、昭和40年代は、大手印刷会社などの仕事も増えていきました。昭和52年に入ると、梱包・運送の依頼を一気に引き受けたことをきっかけに、梱包・運送部門のユニバーサルを設立しました。現在の会社の体制の基礎は、この頃に出上がったのだと思います。

昭和54年に父が38歳で社長を受け継ぎ、平成20年、私が同じく38歳のときに社長業を引き継ぎ、現在に至ります。

当社のチャレンジ精神の原点

私が入社した当時、売上の約7割を占めていた取引先の内製化により、白紙断裁の受注を大幅に失ってしまいま



昭和50年代前半の同社。左から祖母、一人おいて現専務と筆者。左下枠内は同社ロゴマーク。“NS”は“中村紙業”に由来する。

した。しかし、印刷にも事業拡大している時期であったり、同業の仲間の力を借りて、少しずつ得意先を増やすことができ、なんとか乗り切ることができました。先月まで当たり前のようにいただいていた仕事が、取引先の事情で突然なくなることが実際にあるのだと実感しましたが、その危機をなんとか乗り切ってこれたのは、新しい分野の仕事にもチャレンジしたことにあると思います。

知らない分野の仕事にチャレンジするわけですから、当初は苦勞もリスクもあります。しかし、その仕事がいつのまにか日常業務になったとき、会社としては仕事の幅が広がり、大きな危機も乗り越えることができる体力がついたように思います。当時は、仕事のほとんどが突然なくなり、悔しい思いをしましたが、今は新たなチャレンジの機会を作ってくれたのは、その取引先だったと思えるようになりました。

このように、新しい仕事にチャレンジすることは、将来への体力造りだなのだと思います。「小さな仕事を大事にし、



受賞作「由布院 緑涌様 メモリーブック」 エンドユーザーは落ち着いた雰囲気とノスタルジックな空間が特長の旅館。入賞作品は、その客室にサービスとして置かれるメモリーブックで、濃緑厚紙(ビオトープ フォレストグリーン)＋金＆白の特色印刷で和テイストを表現した。色が沈む用紙は白インキが乗らず、重ね塗りで対応した。

左上) 表紙 左) 表紙左上の拡大図：斜めにカットされ、インデックスとなっている。
上) 中面の見開き：左頁に宿泊客が撮った写真をセットできるように切込み加工がなされている。
※写真では見にくいので編集部にて白い斜線を書き足しました。

いい仕事で人とつながっていくこと」——これができていれば、どんなに業態が変化しても、そのつながりの中で対応できると思っています。

受賞作品が完成するまでの経緯と工夫した点

今回、作品展で受賞させて頂きました「由布院緑涌様メモリーブック」は、得意先であるデザイン会社様からのご発注で、当社は印刷及び加工を担当させて頂きました。

印刷は、濃い緑色の厚紙に、金と白の特色で印刷、加工は前頁型抜き加工(表紙はポケット付き)後、金色の針金で中綴じ製本というご要望でした。

濃い緑色の厚紙に金刷り、白刷りという印刷工程では、まず、白刷りが1回印刷したものではありません。白のインキがうまく乗らず、薄い白色になってしまい、結果、重ね刷りをし対応しました。

通常の用紙ではなく、色のついた厚紙ということもあり、表裏のトンボの確認も通常のやり方では出来ず、ハサミで切って確認をしました。

加工については、全頁インデックス付きということもあり、ミリ単位でもズレた場合、文字の間隔のバランスがおかしくなり、きれいな冊子に仕上がらないという難点もありました。

当社では、「断裁」、「折り加工」、「製本」と、全て別々の職人がそれぞれの機械を使って行うため、その全ての工程で細心の注意が必要な加工だったと思います。

印刷物は、用紙の選択、印刷技術、様々な加工技術を駆使することにより、デジタルでは味わえない温かみや優しさ、おもてなしの心、癒しを創り出すことが出来るメディアです。これからも、創意工夫、チャレンジすることを続けていきたいと思っています。

【短信】 イベント情報 ガリ版のある風景 ～学校に刻まれた手刷りの温もり～

11.16(土)～12.1(日)
滋賀県東近江市 ガリ版伝承館
開館：10時～16時30分 / 火曜休
滋賀県東近江市蒲生岡本町 663

【問い合わせ】
蒲生コミュニティセンター
tel.0748-55-0207

●展示テーマ
「学校のガリ版印刷あれこれ」
「アンドー・トーシャと学校」
「教師たるもの、謄写版を持つべし」
●関連イベント
「ガリ版体験イベント」11.17(日)
10時/11時/13時/14時
各回定員5名/500円

【主催】新ガリ版ネットワーク
【協力】山形謄写印刷資料館、サンライズ出版(株)ほか



月刊 グラフィックサービス No.815 2019 10

月刊『グラフィックサービス』815号

■発行日 令和元年 10月10日 (毎月1回)
■発行人 中村 耀
■編集人 早坂 淳
■発行所 一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
TEL 03-3667-2271
FAX 03-3661-9006
WEB <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報
経済社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿/編集/校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
斎藤 成 (東京グラフィックス/広報委員)
藤尾 泰一 (㈱インフォ・ディー/広報委員)
日経印刷㈱ (校正のみ)

◎渉外 守田 輝夫

◎広告 酒井 玲子

◎Web 阿部奈津子

◎組版/デザイン (㈱インフォ・ディー)

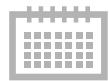
組版 = Adobe CS6/CC ほか
フォント = モリサワ OTF ほか

◎製版/印刷 日経印刷㈱ (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
CTP = 富士フィルム XP-1310R
刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
印刷機 = ハイドルベルグ社 SM102-8P
インキ = DIC
用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2019 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。
また、原則 TM・®マークは省略しています。
※乱丁/落丁本はお取り替えます。



事務局日誌と今後のスケジュール

9月の事務局日誌

- 3日 広報部会「ジャグラ BB ヒアリング」(本部) → 原田理事ほか
- 4日 日本自費出版文化賞最終審査会 & 記者発表会 (吉祥寺・東急 REI ホテル) → 中村会長・沖専務、プライバシーマーク審査会 (本部)
- 6日 プライバシーマーク現地審査 (兵庫)
- 7日 SPACE-21 キャラバンセミナー (本部)、関東地協神奈川大会 / 総会・懇親会 (箱根湯本温泉「吉池旅館」) → 沖専務・並木事務局長
- 10日 プライバシーマーク現地審査 (愛媛)
- 11日 POD 部会 (本部)、東京グラフィックス理事会 (本部) → 沖専務
- 12日 ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会 (本部)
- 13日 総務委員会 (本部)、日印産連「印刷の月」記念式典 (ホテルニューオータニ) → 中村会長・沖専務理事、並木事務局長ほか
- 17日 経営基盤強化委員会 (本部)
- 18日 プライバシーマーク現地審査 (東京)
- 19日 プリプレスセンター 30 周年感謝のタペ (TRUNK (HOTEL)) → 沖専務・並木事務局長
- 20日 JIPDEC 指定審査機関会議 (札幌) → 斎藤プライバシーマークセンター長ほか
- 24日 広報部会 (本部)、広報座談会 / 作品展フリートーク (本部) 岡澤副会長・中村会長・沖専務、作品展部会 (本部)
- 30日 ジャグラコンテスト専門委員会議 (本部)、東京都の公益法人立ち入り検査 (本部)

10月の事務局日誌

- 2日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)
- 3日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)、CSR 委員会 (本部)
- 4日 M&A 部会 (札幌)
- 7日 プライバシーマーク審査会 (本部)
- 8日 ジャグラコンテスト部会 (ネット会議) (本部)
- 9日 プライバシーマーク現地審査 (栃木)
- 10日 プライバシーマーク現地審査 (神奈川)
- 12日 日本自費出版ネットワーク「自費出版アドバイザー研修会」(本部)
- 13日 日本自費出版文化賞表彰式 (アルカディア市ヶ谷) → 中村会長・沖専務
- 16日 日印産連 ステアリング・コミッティ & 専務理事連絡会議 (日本印刷会館) → 中村会長・沖専務
- 18日 広報部会 (本部)、CSR 委員会 (電算印刷㈱ / 松本)、㈱ショーワ会 (ホテルメトロポリタンエドモント)
- 23日 小森会・総会事業 (ホテルイースト 21 東京) → 守田常務、JAGAT 理事会・大会 (椿山荘) 吉岡理事
- 25日 山本耕司副会長の藍綬褒章を祝う会 (リーガロイヤルホテル) → 中村会長・沖専務
- 29日 日印産連 環境優良工場表彰委員会 (日本印刷会館) 並木事務局長、プライバシーマーク現地審査 (新潟)

11月の事務局日誌

- 1日 ビジネス推進委員会・生産性向上部会・マーケティング部会 (本部)
- 6日 日印機協 60 周年記念事業 (如水会館)
- 9日 SPACE-21 全国協議会 宮城大会 (ホテルメトロポリタン仙台)
- 15日 理事会・全国協議会・懇親会 (東京ドームホテル・オーロライースト)
- 16日 全国協議会 (東京ドームホテル・シンシアノース)、役員推薦委員会・総務委員会 (東京ドームホテル・響)
- 20日 マスターズクラブ ゴルフコンペ (茨城 C.C.)
- 22日 近畿地協総会 (兵庫・ザマーカススクウェア神戸)
- 26日 POD 部会 (本部)
- 26日 教育・技術委員会 (本部)

事務局 | 便利 | リンク

9月7～8日、箱根で開催された関東地協神奈川大会に参加しました。実は懇親会の福引で人生初!まさかの特賞が当たって大喜びしましたが、その後すぐに3年ほど使っていた iPhone が急に壊れました。「人間万事塞翁が馬」です。翌日、パワースポットである箱根神社でしっかりお参りして無事?をお願いしたので、これからは大丈夫だと思います。関東地協神奈川大会実行委員会の皆様、そして参加された皆様ありがとうございました。

2019年10月号 ジャグラBB HOT NEWS

今月のおすすめ番組

▶最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



知らないと損をする Photoshopの仕事術 (No.4~5)

鷹野雅弘講師が手掛ける「知らないと損をする Photoshopの仕事術」のNo.4とNo.5をリリースしました。今回は、Photoshop CC 2019の新機能・強化点について解説します。

時間:④10分42秒⑤13分25秒 会員限定番組



映像で学ぶ印刷のすべて【各論】新・第9章 印刷×メディア提案 はじめの一步

「映像で学ぶ印刷のすべて～第9章 多メディア展開」のリニューアル版が登場しました! メディアとは何か、メディアにおける印刷物の役割とは何か、最新の市場動向を交えて解説します。

時間:22分8秒 会員限定番組



平成30年度ジャグラ作品展・大臣賞 受賞者インタビュー

ジャグラ作品展で見事大臣賞を受賞された方たちにインタビューをさせていただきました。受賞の喜びの声をお聞かせください。

時間:7分4秒 無料番組



誰もが利用しやすいウェブサイトづくり ~ウェブアクセシビリティ入門~

誰もが使いやすいウェブサイトを作るための取り組みである「ウェブアクセシビリティ」。その考え方やウェブアクセシビリティに配慮したウェブサイトを作るために必要な基礎知識を学びます。

時間:43分2秒 会員限定番組



Word組版の基本と極意!! ~サヨナラ! Word入稿のトラブル~

Wordデータの出力トラブルでお困りの方必見! 本セミナーでは、ジャグラBBでお馴染みの影山史枝講師が、Word出力の際のデータ検証と最適化のプロ技を伝授します。

時間:1時間30分 会員限定番組



マイスターが伝授するDTPオペレーター のための「InDesign時短テクニック」

ジャグラコンテスト第2回InDesign優勝者で、「InDesignマイスター」の称号を持つ戸田大作氏が、現場で実践しているテクニックを隠すことなく伝授します。

時間:1時間8分 会員限定番組

動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」「インサツノオト。」で配信する投稿映像を募集しています。自社で編み出した仕事の裏ワザ、自慢の印刷機を動画で紹介してみませんか? 採用された方には**1000円相当の商品券**を進呈します。

ワザコレ!動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
応募先メールアドレス: jagrabb@jagra.or.jp

スマホで
撮影した動画も
受付けます!



スマホで簡単登録&視聴! ジャグラBB 新規ID登録はこちらから
https://www.jagrabb.net/app_mail.php





Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —



ウェアラブル遠隔支援システムの運用イメージ

日ごとに厳しさを増す短納期ニーズに応える、印刷の現場。
ウェアラブル遠隔支援システムは、スマートグラス*を通して、印刷機のトラブル箇所を RMGT サービスコントロールセンターから目視して、すばやく対処します。

印刷機のダウンタイムを短縮し、トラブルに直面したオペレーターの不安を軽減します。

RMGTは、技術力と創造力で人を^{たす}援け、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、アシストしていきます。

* スマートグラスとは、カメラとディスプレイを搭載してインターネットに繋がったメガネ型のウェアラブルコンピュータ。

ウェアラブル遠隔支援システムを紹介した動画を公開しています。

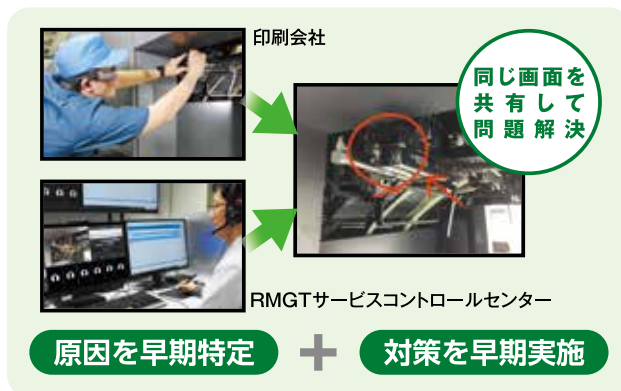
右の QR コードからアクセスして、ご覧ください。

QR コードが読み取れない場合は、下記 URL からアクセスしてください。

<https://youtu.be/fmF7E3NlyRw>



YouTube 動画 URL



原因を早期特定

+

対策を早期実施

リョービ MHI グラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002 広島県府中市鵜飼町 800-2 TEL 0847-40-1600
<http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>



ともに、世界へ彩りを。